

## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6145 URL https://nittoku.co.jp  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹澤 純人  
問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048-615-2109  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,319	3.0	△611	—	△484	—	△345	—
2024年3月期第1四半期	4,195	△4.8	9	—	72	455.9	17	△58.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 162百万円(△73.8%) 2024年3月期第1四半期 618百万円(137.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△19.15	—
2024年3月期第1四半期	0.96	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	63,246	39,625	62.1
2024年3月期	56,785	39,770	69.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 39,275百万円 2024年3月期 39,420百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	2.6	10	△99.4	20	△98.8	190	△82.8	10.52
通期	34,000	10.4	2,550	△38.8	2,550	△40.4	1,900	△30.8	105.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 株式会社アステクノス  
 新規 3社 (社名) API Hard- & Software GmbH 、 除外 1社 (社名)  
 ASTECNOS AMERICA CORPORATION
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	18,098,923株	2024年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	32,575株	2024年3月期	32,575株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	18,066,348株	2024年3月期1Q	18,066,620株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)における世界経済の情勢は、ウクライナや中東情勢等の地政学的リスク、中国経済における労働市場や不動産市場における調整圧力、資源・エネルギー価格の動向等の影響が懸念される中、引き続き不確実性が高い状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境においては、緩和的な金融環境が民間需要の下支えとなる中、人手不足対応やデジタル関連の投資、成長分野・脱炭素化関連の研究開発投資、サプライチェーンの強靱化に向けた投資、自動車産業における電装化・安全化のための設備投資等をはじめ、製造生産システムの自動化・高度化・高品質化ニーズ等により設備投資は堅調に推移いたしました。

当社グループは、ユーザーごとの生産ラインの効率化や必要とされる品質を実現させる「ラインビルダー」として、ユーザーの生産システム全体の設計・構築に技術・アイデアを提供しております。また、採用したい人材が集まる場所にテクニカルセンターを開設するなど、即戦力となる人材の確保を目的とした「サテライト戦略」により、ニッチな業界における優れた即戦力人材の確保を推進しております。

今年4月に、国内では自動化専用機械の設計製作メーカーであるアステクノス社を子会社化し、また欧州では電気測定・検査機器メーカーであるA P I社を欧州現法の子会社とするなど「M&A戦略」を推進、高度な技術的ノウハウを有する企業を統合、これらのM&Aに伴うシナジー効果により、ビジネス・業容の積極的な拡大に努めております。また、大型案件に対する生産キャパシティを確保するため、愛媛県に工場を新設したほか、鳥取県、滋賀県におけるテクニカルセンターの開設、宮城県における工場開設準備等により、生産スペース、生産人員の確保を図り、引き合い、見積もり、受注活動を強化しております。

近年は、SDGs対応やESG経営が求められるようになったことから、当社グループは省資源・省材料・省電力・省スペース・高生産性・高安全性等を実現する生産システムの提供や、関連会社のIMD社においてモータ廃棄量の削減を可能にする絶縁媒体レスモータの研究、当社においてその生産システムの研究に努めており、地球環境保全や国際社会への貢献にも努めております。

当社グループは、モビリティ業界を中心とした新たな技術革新に伴うユーザーの新規製品の自動化案件に対して、ユーザーと共に先端設備の開発を行っており、また従来よりも規模が大型化し、納期も長期化しております。前期はリピート案件が多く、DX化等の様々な生産性向上策を実施したことから収益が大きく伸びましたが、当第1四半期においては、新規開発要素(ユーザー開発製品の進化・変化)を含む案件の割合が多く、仕様変更への対応や品質調整に時間を要したり、検収条件達成のための追加コストや納品後の再改造対応が必要になる等、納期の長期化やコストを要する事象が複数発生いたしました。当期における案件は、引き合いや試作を進める中でユーザーの要望が高度になり、技術要素確保のため価格転嫁し得ないケース等もありますが、中期的な技術開発戦略上、こうした案件も獲得する必要があると判断しております。また、人員増に伴う人件費等の販売管理費の増加も要因となり、当第1四半期においては、利益は前年同期を下回る結果となりました。なお、今後これら案件についてはリピート受注につながるものと考えております。

以上の状況下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は43億19百万円(前年同期比3.0%増)、営業損失は6億11百万円(前年同期は営業利益9百万円)、経常損失は4億84百万円(前年同期は経常利益72百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億45百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益17百万円)となりました。

このような経営環境下において当社の各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当社グループは、搬送システム上に巻線・ハンドリング・組立・検査等の工程を搭載する技術をベースにし、独自開発のOSにより高機能多軸同期制御が可能な生産システムによるさまざまな生産ライン構築を提供することで、世界市場におけるユーザーの競争優位性の向上に資するビジネスモデルを追求しております。ユーザーごとに創出される固有のニーズやウォンツにスピーディーに対応し、ニッチな分野でのオープンイノベーションによるユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進する「ブラックオーシャン戦略」をグローバルに推進することによって、競合他社の参入障壁を高め、競争力及びマーケットプレゼンスの更なる向上に努めております。この成果として、半導体業界向けのハンドラー装置や電池業界向けの捲回機、自動車業界向けのコンデンサやモジュールの組立ライン等、巻線工

程を含まないメカトロニクス事業の領域が広がっております。

昨今の急速なデジタル化の進展によるデバイスやツール等の高性能化・高度化に伴い、当事業においては、当社グループは従来の「生産設備メーカー」から、ユーザーの生産システム全体の設計・構築に技術・アイデアを提供し、工程全体の生産効率化や品質向上に貢献する「ラインビルダー」へと変化を遂げております。

当第1四半期においては、前述の通り、新規開発に伴う納期の長期化やコストを要する事象が複数発生したこと、販売管理費の増加等により、利益は前年同期を下回る結果となりました。

これらの結果、全売上高の約91%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業においては、連結売上高は、39億9百万円（前年同期比10.6%増）、セグメント損失（営業損失）は、4億49百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）35百万円）となりました。

なお、当社個別ベースでの受注高は、48億81百万円（前年同期比4.3%減）、売上高（生産高）は19億63百万円（前年同期比25.6%減）、当第1四半期末の受注残高は214億98百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

#### （非接触 I C タグ・カード事業）

当第1四半期においては、非接触 I C カードの売上高は堅調に推移した一方で、生産ライン管理用の F A タグや電池タグの売上高は、ユーザーサイドが半導体不足時に先行手配していたタグの在庫の影響により、前期に比べ減少しました。

これらの結果、連結売上高は4億9百万円（前年同期比38.1%減）、セグメント利益（営業利益）は1億3百万円（前年同期比54.3%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は3億68百万円（前年同期比27.2%減）、売上高（生産高）は4億9百万円（前年同期比38.1%減）、当第1四半期末の受注残高は5億52百万円（前年同期比32.3%減）となりました。

## （2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

### ①資産

流動資産は前連結会計年度末対比32億29百万円増加し、424億23百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が32億40百万円減少したものの、仕掛金が43億23百万円、現金及び預金が10億55百万円、電子記録債権が4億62百万円増加したことによりです。

固定資産は前連結会計年度末対比32億31百万円増加し、208億22百万円となりました。これは主として、建物及び構築物（純額）が15億43百万円、土地が10億28百万円増加したことによりです。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比64億60百万円増加し、632億46百万円となりました。

### ②負債

流動負債は前連結会計年度末対比48億44百万円増加し、183億67百万円となりました。これは主として、契約負債が26億1百万円、1年内返済予定の長期借入金が9億50百万円、電子記録債務が8億37百万円増加したことによりです。

固定負債は前連結会計年度末対比17億61百万円増加し、52億53百万円となりました。これは主として、長期借入金が17億11百万円増加したことによりです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比66億5百万円増加し、236億20百万円となりました。

### ③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比1億44百万円減少し、396億25百万円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想については本日（2024年8月9日）公表をいたしました「2025年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,028	16,083
受取手形及び売掛金	6,910	3,670
電子記録債権	2,514	2,977
有価証券	301	320
仕掛品	11,094	15,417
原材料及び貯蔵品	2,702	2,647
その他	713	1,418
貸倒引当金	△72	△111
流動資産合計	39,193	42,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,132	6,676
機械装置及び運搬具（純額）	1,039	1,112
土地	2,811	3,839
その他（純額）	700	741
有形固定資産合計	9,683	12,369
無形固定資産		
のれん	—	251
その他	181	226
無形固定資産合計	181	477
投資その他の資産		
投資有価証券	4,991	5,146
退職給付に係る資産	681	685
繰延税金資産	46	171
その他	2,006	1,971
投資その他の資産合計	7,726	7,975
固定資産合計	17,591	20,822
資産合計	56,785	63,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,913	2,447
電子記録債務	2,105	2,942
未払法人税等	1,201	197
契約負債	5,450	8,052
賞与引当金	722	396
1年内返済予定の長期借入金	399	1,349
その他	1,730	2,980
流動負債合計	13,523	18,367
固定負債		
長期借入金	1,584	3,296
退職給付に係る負債	1	3
繰延税金負債	1,186	1,372
その他	719	581
固定負債合計	3,491	5,253
負債合計	17,014	23,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金	2,528	2,528
利益剰余金	24,722	24,069
自己株式	△29	△29
株主資本合計	34,106	33,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,178	2,271
為替換算調整勘定	2,846	3,287
退職給付に係る調整累計額	289	263
その他の包括利益累計額合計	5,314	5,822
非支配株主持分	349	349
純資産合計	39,770	39,625
負債純資産合計	56,785	63,246

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,195	4,319
売上原価	2,905	3,290
売上総利益	1,290	1,028
販売費及び一般管理費	1,280	1,640
営業利益又は営業損失(△)	9	△611
営業外収益		
為替差益	—	33
受取保険金	—	40
その他	86	73
営業外収益合計	86	146
営業外費用		
支払利息	5	15
その他	18	4
営業外費用合計	24	19
経常利益又は経常損失(△)	72	△484
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72	△484
法人税、住民税及び事業税	29	46
法人税等調整額	41	△172
法人税等合計	70	△125
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△359
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△345



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	231	93
為替換算調整勘定	410	454
退職給付に係る調整額	△25	△26
その他の包括利益合計	617	521
四半期包括利益	618	162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	625	162
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

改正された「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下、「2022年改正会計基準」という。)、  
「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)及び「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することとしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

法人税等の計上区分に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項但し書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,533	661	4,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,533	661	4,195
セグメント利益	35	225	260

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	260
全社費用(注)	△251
四半期連結損益計算書の営業利益	9

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワイディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,909	409	4,319
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,909	409	4,319
セグメント利益又は損失(△)	△449	103	△346

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△346
全社費用(注)	△264
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△611

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社アステクノスとAPI Hard- & Software GmbHの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。これにより「ワイディングシステム&メカトロニクス事業」において、株式会社アステクノスののれんが131百万円、API Hard- & Software GmbHののれんが133百万円発生しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	228百万円	268百万円
のれんの償却額	—百万円	13百万円

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
日本	1,661	661	2,322
中国	574	—	574
アジア	552	—	552
北中南米	313	—	313
ヨーロッパ	432	—	432
顧客との契約から生じる収益	3,533	661	4,195
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,533	661	4,195

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類をしております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
日本	1,726	409	2,135
中国	796	—	796
アジア	632	—	632
北中南米	132	—	132
ヨーロッパ	622	—	622
顧客との契約から生じる収益	3,909	409	4,319
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,909	409	4,319

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類をしております。